

「小樽市ふるさとまちづくり協働事業」 事業報告書

1 / 2

団 体 名	おたるご当地応援隊		
事 業 名	ゆるたベライブ in おたる		
実施期間	平成27年6月6日		
事業の目的及び期待する効果	<p>●目的として</p> <p>現在は北海道外でしか開催されていない、ご当地キャラクターが日本全国から集まるイベントがあります。このイベントの集客効果は毎年目を見張るものであり、このようなイベントを今後はぜひ北海道の小樽でも開催したいと考えました。</p> <p>全国的にご当地キャラクターの様々な効果は認知されておりますが、北海道内ではそれぞれの地域のイベントのにぎやかさが主な活動になっていると思います。</p> <p>昨年6月、小樽市内で初めて開催したご当地キャラクターのイベントでは、今まで小樽に来たことのなかった方までもが多く来樽されるきっかけとなり、小樽の観光振興に対し、ご当地キャラクター自体が参加できたのではないかと考えております。</p> <p>そこで今年はさらにご当地キャラクターと、キャラクターにゆかりのあるミュージシャンたちのミニライブや、小樽をはじめとするご当地グルメやスイーツなどを盛り込んだイベントを企画し、このイベントをきっかけに更なる小樽の魅力を再発見していただき、もちろん小樽市内の方にも足を運んでいただけるような幅広い客層をターゲットとできるイベントにしたいと思っています。</p> <p>●効果として</p> <p>昨年のイベントに今年はさらに音楽と食を加えることで、食に関しては小樽市内の企業様にも出店していただくことができ、さらにイベントの来場者様にも楽しんでいただけたと思います。</p> <p>イベント当日のみの効果だけではなく、これを機に SNS 等の発信をさらに拡充させ、こちらからの発信はもとより、訪れた観光客の小樽に対する直接の意見や声などの情報にもアンテナを張り、さらなる観光客増への足がかりにしていけたらと考えています。</p> <p>また、キャラクターに関しても、それぞれが全国規模でファンを抱えています。今回のイベントをお気に入りのキャラクター目的のみで来樽された方にも、じかに小樽の魅力に接していただき楽しんで頂くことで、小樽のファンにもなっていただくことができるのではないかと考えています。</p>		
実施額	事業費	527, 265円	助成額 300, 000円
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・キャラクター集合、写真撮影を館内周遊しながら実施 ・FM おたるによる公開生放送を実施し、時間内で多くの情報をリスナーの方々に発信 ・館内の各スペースにより PR ブースやグルメブース、キャラクターのグッズなどの販売等を実施(PR ブースは商大のアンケート調査・ピンクリボンの活動 PR・北海道新聞のまなぶんの配布・共同募金の寄付金付きピンバッチの活動実施・一部キャラクターのオリジナルグッズ販売の実施、グルメブースは市内の小樽ビール・新倉屋・つくし牧田・菊地商店・浦臼町からのサイコロステーキ等の販売実施) ・午後から3番庫にてミュージシャンのライブを実施、そしてキャラクターとのコラボライブも同時開催 ・キャラクター(おたる運がっば)の新曲ダンスのお披露目会を実施 		

○内容が分かる「資料やチラシ等」を添付してください

月日	内容	想定事業効果 (参加人数等)	事業効果 (実績)
6月6日	ゆるたベライブ in おたる	1,000 ~1,500人	約1,500人

◎事業評価について

1. 事業の目的の達成度

事業を通して、元気・活気のある小樽を発信できました。

内容に関しても、目標の動員数の1,500人に近づけたと思っております。カウンター数(運河プラザ内観光インフォメーション調べ)では1,900人と聞いており、出入りのあるイベントであるため目標近くまでいけたのではないかと考えています。

小樽市内の方の参加、道内では旭川・登別・帯広と道内各地から足を運んでもらえたことも確認しました。子供たちの来場も期待して、事前に市内の幼稚園等に告知もしていましたので家族での来場も見ることができました。

また、ご当地キャラクターが予定よりも増え、SNSで個々のキャラクターが情報発信したことにより全国に小樽で開催した内容が広がったと考えられます。

ラジオでの公開生放送では、地元のリスナーも来場されていたようで、様々な客層の来場も見込めたと考えます。

2. 参加した方々や、周辺の方々の満足度

〈当日の一部参加者のご意見ですが〉

- ・小樽市内では他のイベントもしていて、1日に2度楽しむことができました。
- ・久々にゆっくりと小樽観光ができました。
- ・会場が狭いのでは？
- ・もっと色々な食べ物が食べたい。
- ・今回出店参加できなかった市内の企業から、来年声をかけてくださいという意見もいただきました。
- ・ご当地キャラクター主体イベントは少ないので楽しみに来ました。等の素直な意見を聞くことができました。

3. 今後の事業について

始めてでしたが、飲食ブースを取り入れたことは成功だったと思います。

来場者の満足度を上げないようにしていくことは小樽ファンを増やしていく継続的な課題と考えます。

小樽に来ることが楽しいと思ってもらう、それはもっと小樽の魅力要素を加えることが必要と思っているので、より小樽市内の企業との連携も必要になるのではないかと考えております。

もっと小樽に足を運んでもらうことも今後考えていく必要があるため、候補としてマリン広場やウイングベイ小樽のネイチャーチャンパー等界さあ居場所の選定も必要と考えます。

今後もご当地キャラクターを活用した独自のまちづくりを拡大できるようにしていきます。

4. 「小樽市ふるさとまちづくり協働事業」に関する要望事項等